

1年の計はかわら版にあり! スタッフ

たちに今年の目標を聞いてみました

「真」 一層責任感をもって1人1人のお客様と真正面から向き合い、感謝の葬儀を目指します
(よこやま)



「添」 忙しさや、目先のことにとらわれず、今年も「当家に寄り添った葬儀」を一番に、気持ちを引き締めて寄り添えたらと思います
(しばさき)



「進」 よく跳ねるうさぎ年にちなんで、1つ1つの出会い、ご縁を大切に進んで参ります!
(なんば)



「兆」 継続して取り組むことの大切さを実感し、今年も色んないい兆しが現れることを期待して
(すすき)



「鑑」 家では子どもに、職場では後輩たちにより手本になれるよう、自分の行動を顧みる1年にしたいです
(いのうえ)



「新」 新たなお客様との出会いを大切に、それぞれに寄り添う葬儀を執り行うことができたと思います
(まさひろ)



「再」 終活などの勉強会や説明会を再開し、もっと地域の方との交流を深めていきたいと思えます
(はたけなか)



「動」 丁寧な声かけで相手の心を動かし、感動を与えることができるように頑張ります!
(ふかわ)



「蓄」 葬儀のこと、仏壇のこと、新しい知識をどんどん吸収する勉強第一の1年にしたいです!
(いまむら)



「自」 老後の入り口を迎えましたが、自立を心がけ、めいっぱい楽しく生きようと思えます
(ひでとし)



「誠」 お客様に誠心誠意向き合っ、少しでも後輩たちの力になれるよう、毎日元気に出社します
(とよなが)



「減」 いつでも万全な体制で仕事に取り組めるよう、体調管理に気を付けてフットワーク軽めな1年に!
(おがさわら)



「整」 今すべきことがすぐに分かるように、毎日仕事の整理整頓を忘れず綺麗な机を心がけます!
(たかひら)



「意」 1つ1つするべきことに対し、意識し、意欲をもって仕事へ取り組んでいきたいです
(あさひ)



「新」 まずは1人で担当できるように、新しいことに挑戦して、故人様を気持ちよく送り出せるような葬儀を目指します!
(おおの)



「挑」 若いうちから失敗を恐れず、何事にも果敢に挑戦していき、自分の糧にしたいです
(たけよし)



「進」 どんな困難なことを経験しても、一歩ずつ前に進むことで新しい景色が見えることを願います
(もりした)



「動」 お客様に感動してもらえる葬儀のため、私が担当になった際は何でもお声がけください!
(かわむら)



「挑」 苦手なことや、未経験のことにも積極的に挑戦する1年にしたいです
(たなか)



「創」 当家の気持ちを和ませる祭壇、新たな生花の供給先を創っていこうと思えます
(おかざき)



「忍」 日々忍耐強く、こつこつと、目の前の仕事に取り組んでいきます
(よこぼり)



「安」 館内安全、故人様や宿泊される皆様が安らかに過ごせるよう気を配って参ります
(たけもと)



「会」 一度しかない今、会いたいひとには直接顔を見て笑い合う、1年にしたいです
(はしもと)



「気」 気持ちを込めて、気遣いのできる仕事をするため、自分の健康にも気を付けていきます
(インフォメーションM)



「応」 葬儀に携わるスタッフ全員が仕事を円滑に進められるように、自分の役割に応えていきたいです
(アルバイトY)



「学」 葬儀に関する知識や礼儀作法、事務的知識も学んで実り多き1年にしていきたいです
(アルバイトY)



「愉」 困難な状況や辛い時こそ顔を上げて、どんな場面も愉しむ気持ちで仕事に取り組みたいと思えます
(アルバイトY)



「縁」 12月に入社し、「人生の出来事に偶然はない」、という言葉に胸に日々仕事に励んでいます。
(うえた)



「和」 今年もスタッフ一同力を合わせてお客様の気持ちに寄り添えるよう頑張ります!
(Y)



「懇」 大切な人をお見送りする不安を抱える方に、電話対応で安心してもらえるよう真心込めて努めます
(Y)

